



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

国際交流委員会

はじめに

コロイドおよび界面化学部会の国際交流委員会が担当している主な行事には、以下の2つがあります。

①当部会が主催する「コロイドおよび界面化学討論会」の国際シンポジウム

②日本化学会春季年会中に開催する「アジア国際シンポジウム—コロイド・界面化学ディビジョン—」

後者はアジア諸国でご活躍の若手研究者との交流を促進することが目的の1つになっています。そのため、当部会の若手ワーキンググループ（若手WG）にも協力をいただき運営しています。原則として隔年での開催としていますが（前回は2024年3月の春季年会中に開催）、2026年3月は後述する部会50周年記念国際会議（Okinawa Colloids 2026）との兼ね合いもあり、開催を延期することになりました。

国際シンポジウム

2025年9月22～25日に第76回コロイドおよび界面化学討論会が千葉大学で開催されました。その最終日に国際シンポジウムが行われました。国際シンポジウムはここ数年、討論会の最終日に1会場で行うことが恒例化しており、討論会の主要6分野にとらわれない横断的な討論と交流が可能になっています。今回は



Plenary 講演1件とKeynote 講演3件を含む16件の口頭講演が行われました。Plenary 講演者のNikolai Denkov教授は2020年度にLectureship Awardを受賞されていますが、コロナ禍による入国制限などもあり、今回、講演いただくことになりました。聴講者は100名を超え、大変活発な討論の場になりました。

Plenary Lecture :

Prof. Nikolai Denkov (Sofia University)
“New Phenomena with Lipid Emulsion Droplets, Undergoing Phase Transitions”

Keynote Lectures (講演順):

Prof. Franco King-Chi Leung (The Hong Kong Polytechnic University)

“Supramolecular Assemblies of Photoresponsive Molecular Amphiphiles in Aqueous Media”

Prof. Carlos Rodriguez-Abreu (Spanish National Research Council)

“Exploring Morphology and Interface Diversity in Emulsions”



Prof. Wataru Shinoda (Okayama University)
“Molecular-Scale Interfacial Dynamics of Asymmetric Membranes and Lipid Nanoparticle Systems : Insights from Coarse-Grained Simulations”

おわりに

2026年11月1～6日に部会50周年記念国際会議（Okinawa Colloids 2026）が沖縄県名護市の万国津梁館で行われます。2019年にも同会場で当部会は国際会議を開催していますが、その折は日本を含む33ヵ国から約1000名の方に参加いただけました（日本国外からの参加者数は約250名）。今回もそれに匹敵する、あるいはさらに多くの方に参加いただき、学術的かつ人的な国際交流が図られることを期待しています。

〔国際交流委員会委員長
酒井健一（東京理科大学）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan